

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年1月21日
タイトル	農業体験で作ったお米、給食でみんな一緒に食べたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年1月8日（金）福山市立駅家西小学校で、5年生64名が農業体験で収穫したお米を給食として、全校児童でいただくことになり取材しました。

5年生は、駅家西学区内の町内連合会会長をはじめ地域の方の協力で、水土里ネット福山の組合員 岡田国彦さんのほ場で籾蒔きから稲刈りまで全て手作業による農業体験をしました。

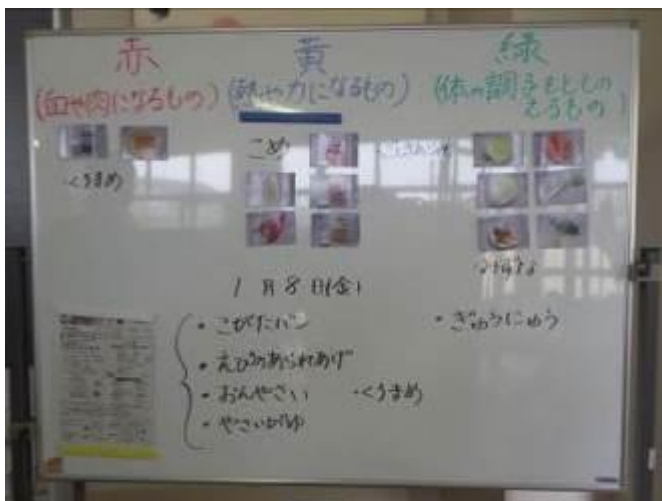
給食の献立は、お節料理にちなんだメニューとなっていて、海老や黒豆、そして七草粥ならぬ野菜粥です。駅家西小学校の調理室は、炊飯の設備がなく献立が米食の時は、外部の業者から搬入されるそうです。そのため、5年生が農業体験したお米を全校児童で食する機会として、学校の調理設備でつくることのできるお粥となったそうです。



野菜粥は365食、米7kgが使われました。

みんなで籾蒔きから育苗、田植え、稲刈りと昔ながらの手作業で、頑張ったお米です！

出来上がった給食は、それぞれクラスに分けられ運ばれていきます。各クラスから給食当番が給食室へパンをとりに来ます。5年生の鳥羽先生のクラスの給食当番がパンをとりに来たので、一緒に教室へ案内してもらいました。給食当番は一人で、みんなのパンが入った大きな入れ物を両手で持って、元気よく3階まで階段を上がって行きました。



当日の献立が掲示してありました！



各クラスへ運ばれていきます！

教室では、他の給食当番が配膳係をしていました。大きな鍋から注ぎ分けていきます。きれいに残さず注ぎ分けるのは意外と難しいと思うのですが、淡々と作業して最後は見事に残さずピッタリと注いでいました。給食当番以外の子ども達は、自分の席で各々、本を読んだりして静かにしていました。



野菜粥は「おじや」のようで具が沢山で味もしっかりとついていました。海老も一尾ずつあられの衣をつけて揚げてあり、手の込んだ料理でした。

私にも給食を用意してくださり、一緒にいただくことができました。子ども達と一緒に感謝していただきました。とてもおいしかったです。

全員の配膳が終わり、鳥羽先生から「みんなで一生懸命作ったお米です。お世話になった地域の方や毎日お世話をしてくださった岡田さんに感謝していただきましょう。」と話され、日直の合図で大きな声で「いただきます」と言って給食をいただきました。

校内放送でも「今日の給食の野菜粥は、5年生が農業体験で地域の方と作ったお米です。地域の人に感謝し残さず食べましょう」と呼びかけていました。

給食を一緒に食べながら、緊張も解けてきたので、農業体験で一番印象に残った事を聞きました。

「稲を刈る時のザクツとした感触が気持ち良かった。」「たくさん稲刈りして手が痛くなった。」「稲を束ねるのが難しかった。」

「暑くて途中から汗だくになった。」「刈っても刈っても終わらんかった。束ねるのが間に合わんけえ、山積みになってたな。」と稲刈りの事を思い出して話が弾みました。



「田植えのときは足が抜けんかったんよ。」「素足に土のヌルヌルの感触がして気持ちよかった」「そうじゃ苗が足らんかったけえ岡田さんが追加で持ってきてくれちゃった。」と田植えを思い出して、うれしそうに話してくれました。「最初の粃蒔きの時は小さな粃だったのに大きくなって沢山お米がとれた。」

「お米ってすごいな。この茶碗に何粒入るとるんじゃろ。」と言い、みんなで残さずに食べました。

野菜粥の感想を聞いたら「やっぱり学校のみんなで、一緒に食べるとおいしい。」と答えてくれ、自分達が一生懸命作ったお米を学校のみんなにも食べてもらえることが誇らしいようでした。

すっかり打ち解けてくれ、逆に「他にも学校に取材に行くんですか。」と質問されました。「4つの小学校2つの保育所、1つの幼稚園に行っ、駅家西小学校と同じ米作りは東村小学校だよ。」と答えると「東村小学校も給食でお米を食べるの？」と聞かれました。

「なんと東村小学校は農業体験で作ったお米だけで給食を食べられるんよ。」と答えると、「えー、すごい！」とびっくりしていました。他の2校は「くわい」の農業体験をしていることを話すと「くわい大好き！」と言って、福山がくわい生産量日本一ということを知っていて、びっくりしました。楽しく会話しながら一緒に給食をいただくことができました。

5年生は、2月には調理実習でご飯を炊くそうで、白米そのものを食べることができるので、楽しみにしているそうです。

駅家西小学校では、毎年5年生が稲作を全て手作業で体験する農業体験をしておられ、水土里ネット福山は、籾蒔きから、育苗、田植え、稲刈りまで取材しております。

取材を通じて、子ども達の農作業をしている時の自信に満ちた様子、小さな生き物を見つけた時のキラキラした笑顔、農業に対する気持ちや地域の方に感謝する気持ち、そして食物を大事に思う心に触れることができました。

子ども達にとって、この農業体験がいい思い出となり、ふるさとを大切に思う心が育まれたことでしょう。

水土里ネット福山では、引き続き農業体験に協力し、21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。